

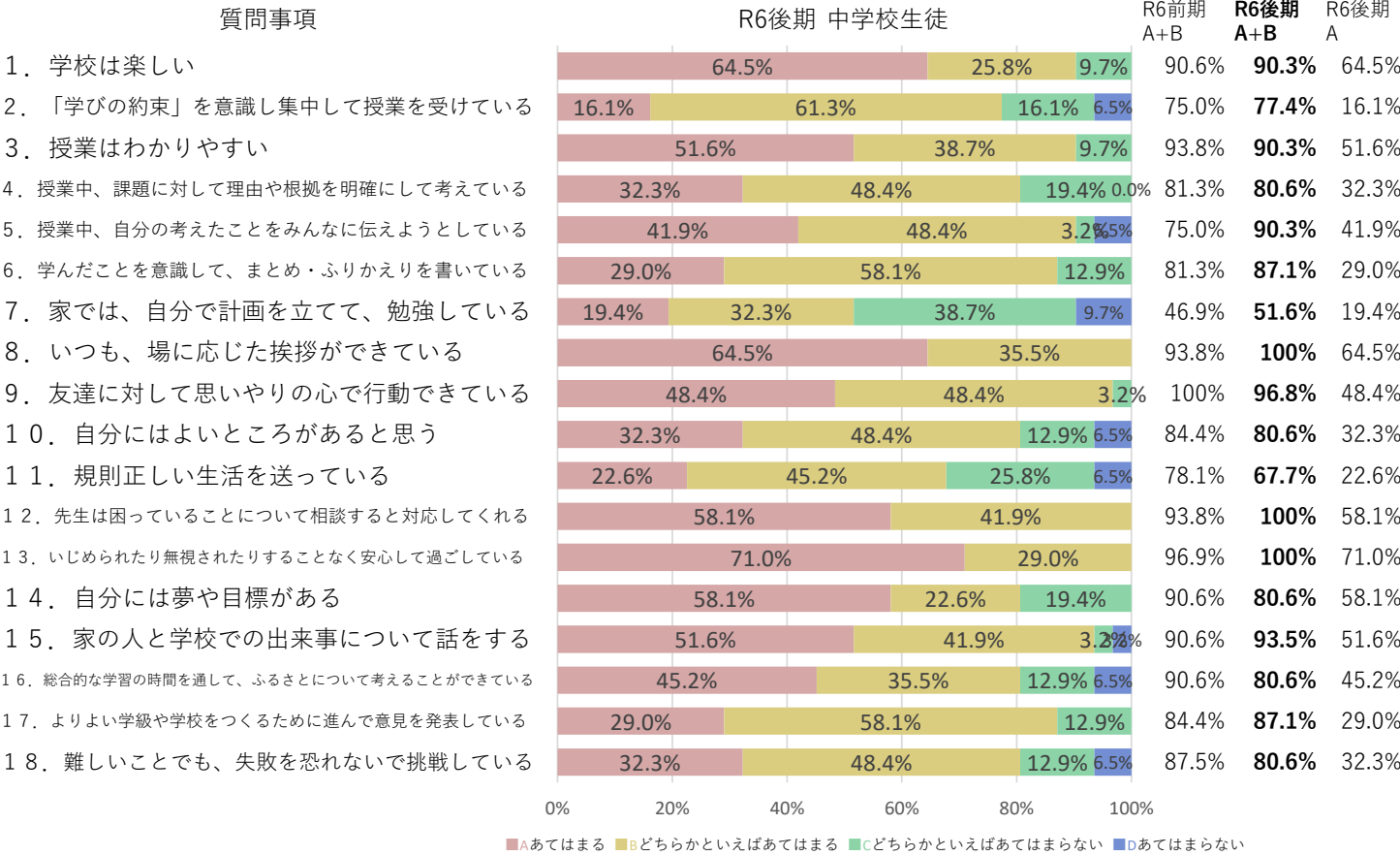
中学校保護者様

白山市立白嶺中学校
校長 高松宏晃

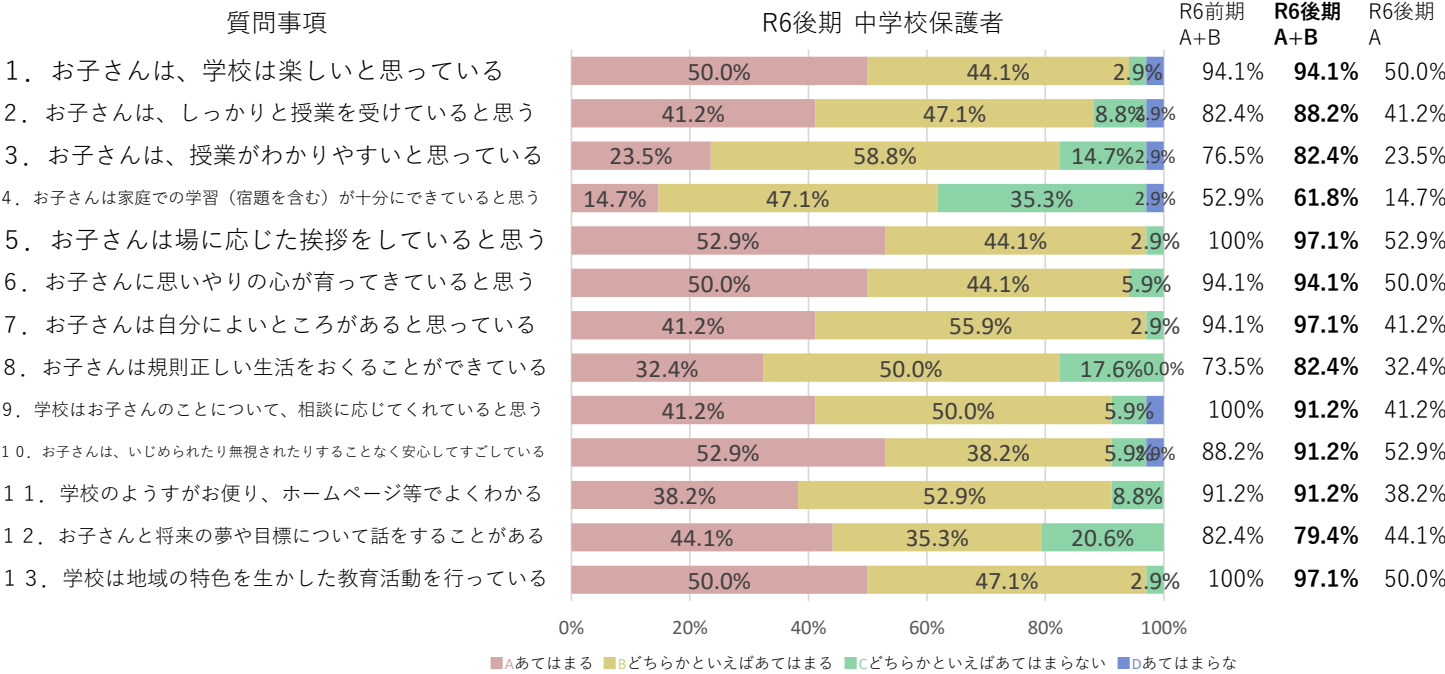
令和 6 年度後期 学校評価結果の公表

初春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。後期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、今年度も残りわずかですが、教員一同、一層の改善に努めていきたいと考えております。

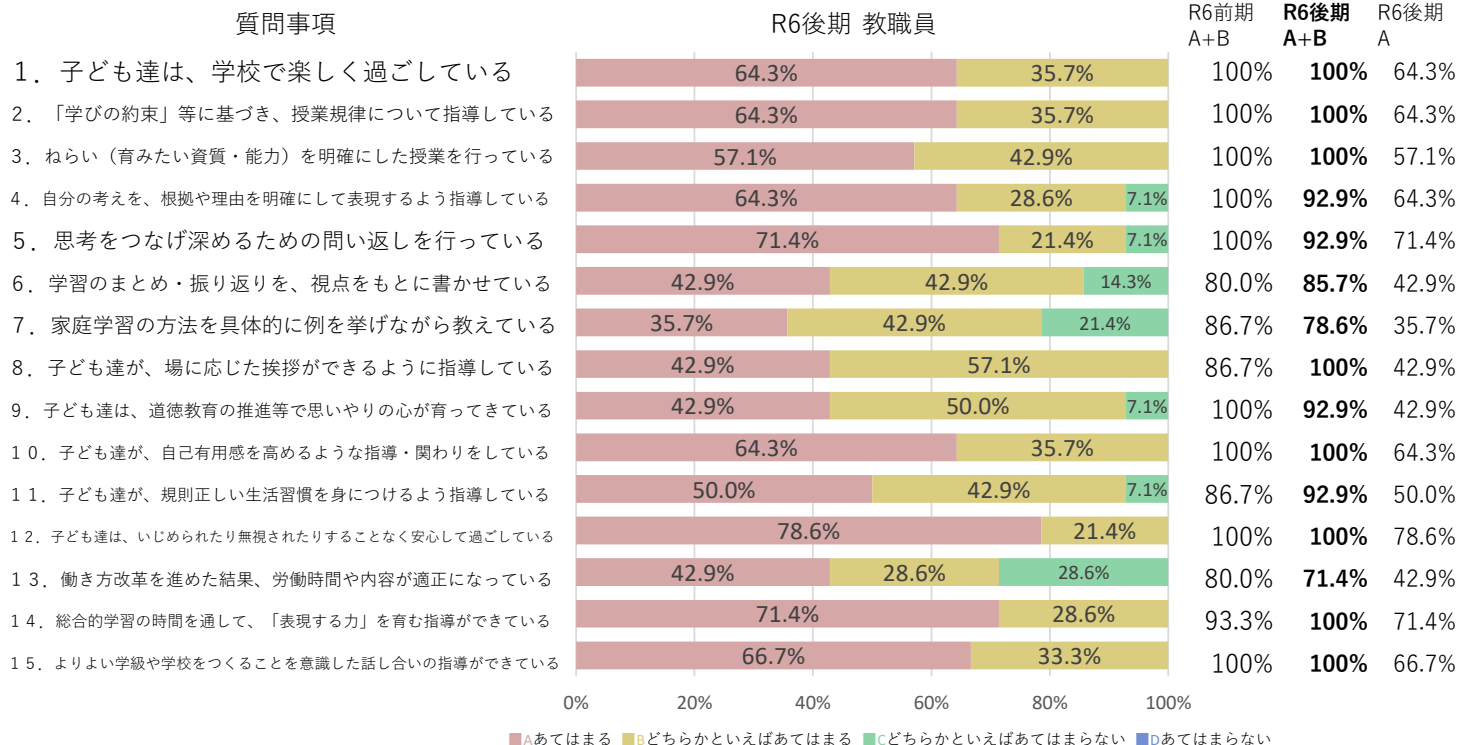
中学校生徒



中学校保護者



教職員（小学校＋中学校）



【よかった点○と課題▲と改善策☆】

〈学習面について〉

○「授業中、根拠を明確にして考え」、「その考えをみんなに伝えようとしている」に「あてはまる」と答えた生徒が25→32%、22→42%と増えました。

▲「学びの約束を意識して集中して授業に取り組んでいる」に「あてはまる」と答えた生徒は28→16%と減少しています。

▲「学んだことを意識してまとめ、振り返りを書いている」に「あてはまる」と答えた生徒は44→29%と減少しています。

▲教員側のまとめ・振り返りを視点をもって書かせているに「あてはまる」と答えた教員も53→43%と減少しています。

☆生徒の学びの充実に向け、研究の重点である「できた」「わかった」と子どもが実感できるまとめ・振り返りを、時間確保、モデルの提示、効果的な評価や価値付けする等、教師が一枚岩となってやり遂げたいと思います。

▲設問「家で自分で計画を立てて、勉強している」に「あてはまる」と答えた生徒は31→19%と激しく減少しています。保護者も18→15%と減少しています。

☆学校では、個別の対応もしていますが、なかなか家庭学習が定着しません。コンテスト等も実施していますが、授業中のやる気が家庭学習の定着に結びついていないように思われます。生徒指導の生活習慣とも合わせて、時間の使い方を見つめ直す指導をします。

〈生徒指導面について〉

規則正しい生活の項目から

▲規則正しい生活が「できている」のA評価が8.7%下がりました。「できていない」と回答する生徒も6.5%います。

☆判断基準が曖昧であったため、「できている」と回答できなかった生徒もいたようです。質問項目を具体化し、数値で判断できるよう改善します。

☆生活リズムアップの取組は生徒の意識高揚の契機となりました。また、取組結果からも、SNSや動画視聴等、スクリーンタイムが増加傾向にあるとわかりました。就寝時刻の遅れや家庭学習の定着が弱い原因と考えられることから、家庭でのルール作りなどご家庭の協力もお願いしていきたいと思います。好ましい生活リズムを定着させるため、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

学校が楽しい の項目から

○肯定的な回答は高い水準を保ち、あてはまらなと回答した生徒はいませんでした。生徒が活躍し、達成感を味わえる活動を重ねてきた成果の一つと捉えます。

▲自信を持って「楽しい」と答える生徒は64.5%にとどまっています。否定的な回答をする生徒も9.7%存在します。

☆日頃の授業や体験活動の中で、真剣に考えることの面白さや仲間と話し合いながら視野を広げ、考えをより深めることの楽しさを実感できるようにします。

〈特別活動面について〉

○「よりよい学級や学校をつくるために進んで意見を発表している」と肯定的に回答する生徒の割合は高い水準にあります。

▲自信を持って「よりよい学級や学校をつくるために進んで意見を発表している」と回答できる生徒は3割未満です。また、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」と言い切れる生徒も3割程度で、あてはまらなと回答する生徒も6.57%存在します。

☆よりよい姿を目指して自分の考えを持ち、表現し、困ったときは仲間を助け、また助けられながら、学校生活のみならず、日常生活のあらゆる場面で挑戦してみようとする心を養いたいと思います。

【学校関係者評価委員会より】

○学校が教育目標を達成するために実施している様々な取組が少しずつ効果を上げてきている。職員が目的を共通理解し、保護者の理解、協力を得て、共通実践している証と言えるだろう。子どもたちのより良い成長に向けて改善しようとしていることを、ぜひ継続して欲しい。

☆地域と連携することで一層効果的上がる取組があれば、学校運営協議会を活用する等、綿密に連携していくと良い。

大半の児童の小・中9年間の成長を見届けられるのが白嶺の強みである。特徴的な数値の変化があれば改善に生かすと良い。